酪農学園大学・北海道大学・帯広畜産大学連携による

食の安全・安心の基盤としての地域拠点型教育研究システムのネットワーク形成

【目的】

農村サテライトと3大学連携による地域拠点型教育研究システムの構築

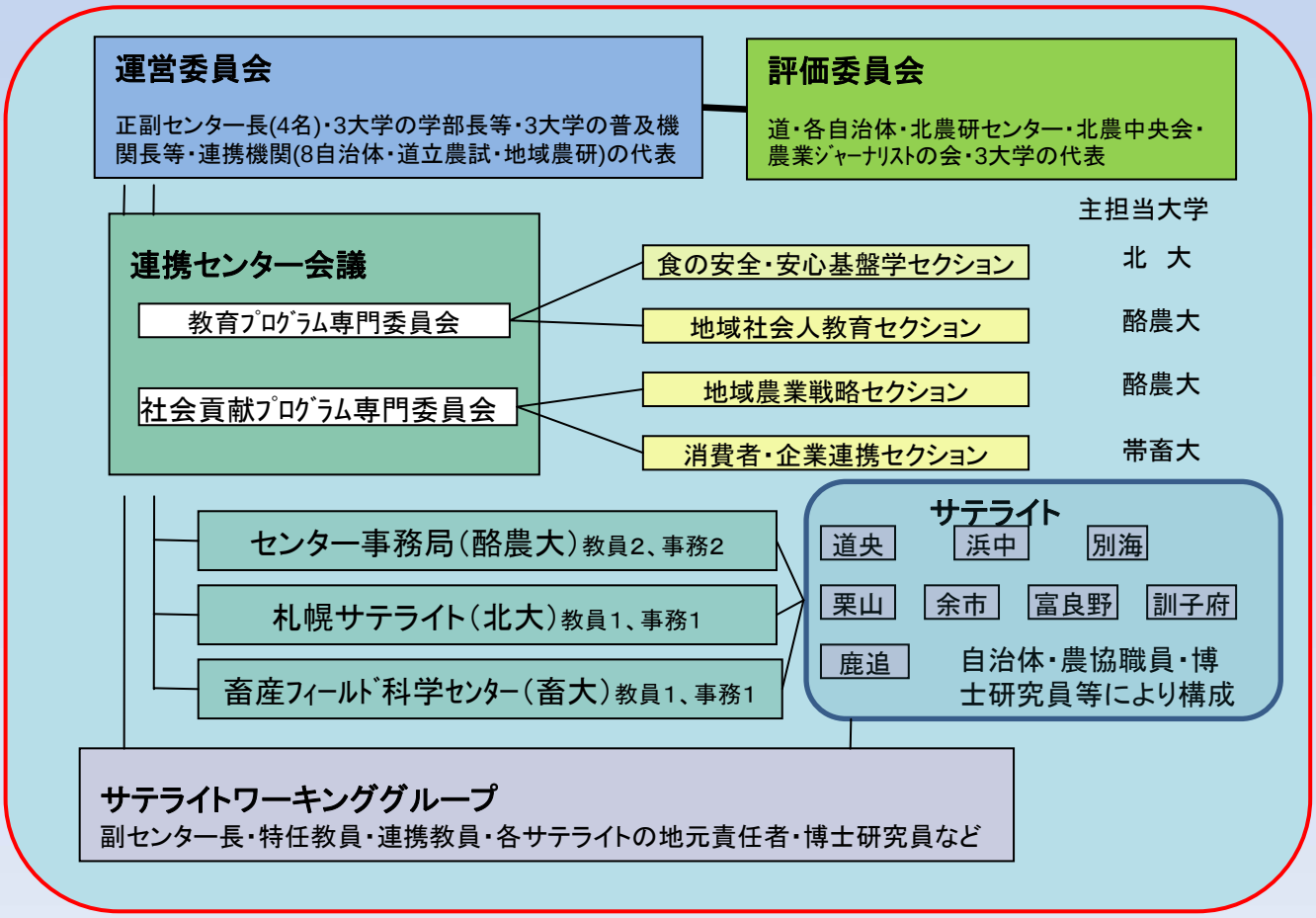
○3大学が個々に進めてきた食の安全･安心に関する学問領域の統合化と教育研究の充実

○地域社会のニーズに基づく教育研究及び人材育成
＝食の安全安心基盤学の教育プログラム構築
→大学院生にDiploma、社会人にマイスターを授与

○研究者、学生、地域が連携して循環型農業の推進、地域農業戦略の策定･実施･検証
＝循環型農業と地場型食品生産をめざす総合支援システムの確立･情報発信
→食の安全･安心に関する国民的合意を目指す

【取組主体】

地域拠点型農学エクステンションセンター

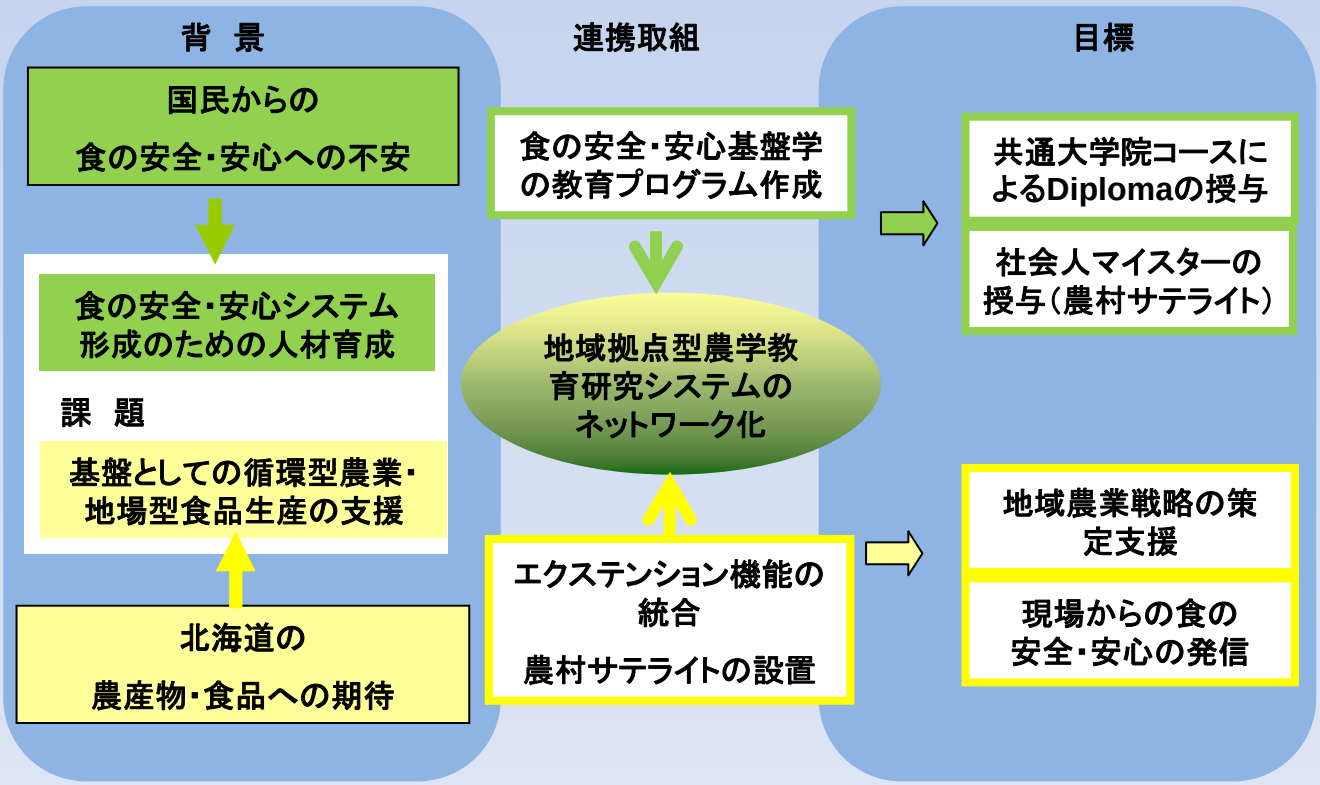


酪農学園大学、北海道大学、帯広畜産大学

食の安全・安心の基盤としての地域拠点型教育研究システムのネットワーク形成

【背景・課題】

●21世紀の地域農業：北海道農業は「食を育む・環境を育む・人を育む・地域を育む」を掲げて発展しようとしている。

●大学への要請：食の安全・安心への保証。循環型農業の確立。農業と食品生産の担い手の育成。食の総合的知見を有する人材育成。地域農業振興のための教育研究。
農村地域からは多数の要請があります。

●実現のために：“地域で学び、地域に還す”地域と大学の連携が不可欠です。3大学の連携は、広大で多様な農業地域をカバーし、多様なニーズに的確に応えるために不可欠です。